



平成 18 年 2 月 24 日

各 位

会社名 ラオックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 本多 利範
(コード番号 8202 東証第 2 部)
問合せ先 執行役員 広報 IR 室長 山下 巖
(TEL 03-5297-3841)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 18 年 3 月期第 3 四半期業績の結果ならびに最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 11 月 25 日の中間決算発表時に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期業績予想の修正

(1) 連結業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	119,300	900	9,000
今回修正予想 (B)	105,300	650	8,940
増減額 (B - A)	14,000	250	60
増減率 (%)	11.7	27.8	-
(ご参考)			
前期実績(平成 17 年 3 月期)	129,125	1,084	10,989

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 131 円 64 銭

(2) 個別業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	114,400	600	7,750
今回修正予想 (B)	100,700	425	8,150
増減額 (B - A)	13,700	150	250
増減率 (%)	12.0	25.0	-
(ご参考)			
前期実績(平成 17 年 3 月期)	118,708	417	11,716

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 120 円 00 銭

2. 修正の理由

(1) 連結業績の修正理由

売上面においては、新店開店時期が当初計画から遅延して、第3四半期中の開店が出来なかったことが、大きな要因であります。なお、新店は第4四半期に集中的に開店いたしますので、来期からの貢献が期待できます。また、第3四半期の年末商戦において、秋葉原における大型競合店の開店や、郊外店における熾烈な価格競争を背景に、パソコンを中心にした売上減の発生が売上予想の下振れの要因であります。

もとより、このような競争状況を視野に入れて、消費者の変化に対応したソリューションストアを早期に立ち上げ、当社グループ独自のビジネスモデルを確立すべく社内改革が進行中であります。

また、今年の1月期および2月期前半においてトリノオリンピックなどのイベントによる映像関連機器の伸長が予想を下回った等により、通期目標を修正いたします。

なお、経費削減においては、ほぼ目標通りに推移しており、経常利益面では、昨年度に較べて大幅な改善を見込んでおります。

(2) 個別業績の修正理由

連結業績と同様の理由によるものであります。ただし、当期純損失の増加に関しては、平成17年10月1日付の株式会社ナカウラの吸収合併にともない、「子会社株式消却損」として、224百万円の特別損失を計上するためであります。

[業績の予想に関する注意事項]

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係わる現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上